

文化・宗教への配慮と育成支援により、 外国人社員が安心して成長できる職場へ

製造業



株式会社 光機械製作所

設立年	1959年
従業員数	90名
事業内容	専用工作機械の設計と製造、切削工具の生産、 レーザー加工によるトータルソリューション
所在地	三重県津市一身田中野8-1
HP	https://www.hikarikikai.co.jp/



外国人材雇用を始めたきっかけ

弊社では、新たな価値の創出には女性や外国人等、多様な人材の活躍が重要であるとの考えから、人材方針として「3G (Gender-free・Generation-free・Global)」を定め、ダイバーシティを大切にしています。外国人材雇用を始めたきっかけについても、工作機械や工具をオーダーメイドで設計・製造している業務の特色から、より一層ものづくりの可能性を広げるため、異なる文化的背景を持つ多様な人の視点や発想を取り入れたいと考え、採用を始めました。

採用のための取組

採用活動では、国内の人材紹介会社を利用しており、面接では、仕事に向き合う姿勢の面からはものづくりへの熱意や学ぼうとする姿勢を、能力の面からは日常会話レベルの日本語能力や、これまで学んできた日本語と業務との親和性を、それぞれ重要視しています。

また、採用のための工夫として、面接の中で工場見学を実施しています。複数回面接を行う中で、初回の面接では、雑談を交えながら日本語でのコミュニケーション能力を確認し、最終面接では直接、工場見学に来てもらっています。就職後に働く工場を実際に見てもらいながら、その様子を見て選考を行えるため、採用後のミスマッチを防ぐことにつながっていると感じています。

課題

外国人社員の日本語能力には個人差がある中で、日本語能力が高い他の外国人社員に通訳を頼る場面もあり、日本語教育体制の整備が課題です。

また、日本人同士であれば自然に伝わる細かなニュアンスや職場での明文化されていない作業ルール等は、外国人社員に教えるために改めて言語化する必要があり、その整理にも難しさを感じています。

外国人材 採用経路

リファラル、国内人材紹介会社

● 外国人従業員数	9名
● 国 籍	インドネシア9名
● 在 留 資 格	永住者5名、家族滞在2名、留学1名、 技術・人文知識・国際業務1名
● 業 務 内 容	設計、製造



業務部のご担当者

外国人材の定着・活躍のための取組状況

01 国籍を問わず自然に協働できる職場づくり

社内では、人材方針の一つである「Global」に基づき、多様な視点を尊重する姿勢を共有しています。それぞれの文化や宗教等の違いは、新しい発想やアイデアを生み出す源でもあると考え、外国人社員を特別視せず、自然に協働できる職場づくりを進めています。

そのためにも、OJTを通じた人材育成に力を入れており、専門的な業務についても段階的に指導することで、多様な社員がそれぞれの力を発揮しながら活躍できる環境を整えています。外国人材については、言葉の壁によって自分の考えや意見を十分に表現できていないこともあると考え、そのサポートにも気を配っています。

02 文化・宗教への配慮による働きやすい環境づくり

母国の文化や宗教的背景を尊重し、社内に礼拝スペースを設けています。就業時間中であっても、時間単位での休暇取得を認め、社内で昼と夕方の礼拝ができるほか、近隣のモスクへの参拝についても、事前申請によって認めています。社内イベント時の飲食や誕生日の贈り物についても宗教的背景に合わせた内容とする等、それぞれの宗教的価値観を尊重しながら働きやすい職場環境づくりにつなげています。

03 「何のための仕事」かを伝える明確なコミュニケーション

職場でのやり取りは、趣旨や意図を明確にしたコミュニケーションを意識しています。業務の説明を行う際は、単に指示するだけでなく、その背景や目的もあわせて伝えるようにし、職場での慣習や仕事の進め方についても具体的に共有しています。また、採用時の工場見学では、外国人社員と直接話ができる機会を設け、入社前から職場の雰囲気や働く姿をイメージしやすいよう工夫しています。

04 専門性向上に向けた育成支援

弊社では、入社後に約1か月間の初期研修を行い、業務の基礎知識やビジネスマナーを身につけられるようにしています。その後も外部研修への参加を支援し、社員がそれぞれの専門性を高められる体制を整えています。入社後も学び続けられる環境を提供することで、将来的にそれぞれの職種分野で高度な専門性を身に付け、国際的に通用する技術者として活躍できるようサポートしています。



外国人社員の声



インドネシア出身

設計者として活躍する外国人社員

勤続年数	1年
日本在住年数	3年
業務内容	制御設計
在留資格	技術・人文知識・国際業務

学びと改善を積み重ね、 世界で通用する技術者をめざしたい

母国の大学では、物理工学部で電気工学と機械工学の知識を組み合わせ、いわゆるメカトロニクスの分野を専攻しました。小学生の頃から日本に関心があり、独学で日本語を学んでいました。大学卒業後は、日本で働くことを目標に本格的に日本語を習得したいと考えて、日本語学校に入学するため来日しました。そして日本語学校を卒業後、自分の専門性を高めたいと考えて光機製作所に入社しました。

現在は、制御設計部門で製図業務やモーター制御等のプログラム作成を担当しています。日々の業務で学びを重ね、技術を高めていくことにやりがいを感じています。休日はアニメ関連の活動やコミックマーケットへ参加する等、日本の生活を楽しんでいます。

今後は日本語能力と技術力の両方をさらに伸ばし、国際的に活躍できる技術者になることをめざしています。